

「けいはんな学研都市」の現状と課題

現状・実証



公道実証プラットフォーム
⇒国内初のレベル4
自動パーキング実証



ロボット技術センター: 利用800+
⇒けいはんな発スタートアップの
ロボットが飲食店等で活躍



大学7、企業・研究機関155
研究者等11,000+、住民250,000+

京都スマートシティエキスポ
来場者12,500、出展社112、商談数300+

現状・集積

課題・実装・新産業創出

課題・連携・国際化

スマートインフラ整備

【府2024年6月補正予算(要求中)】

ロボット・自動運転等のためのセンサー、カメラ、通信基盤等を精華大通り(府道)に整備

けいはんな万博2025

KEIHANNA EXPO 2025

- ・万博本体とのコラボ (開会式での12か国語合唱)
- ・未来食レストラン
- ・オープンラボ・テックツアー
- ・自動運転バス

住民が操作するロボットが歩道を走行し買い物(アバターチャレンジ)

国内外プロジェクト誘致

- ・アブダビ
- ・米国ジョージア州
- ・けいはんなスタートアップ

学研都市のスマートシティ実装化

【府2025年当初予算(要求予定)】

Foodtech-hill

京都フードテック基本構想の推進拠点

「食」×「テクノロジー」×「伝統・文化」の総合力の発揮により、京都らしい食のイノベーションを実現し、農林水産業や食関連産業を取り巻く課題の解決とブランド力の強化を推進

一次産業の研究拠点

- 農林水産技術センター<機能強化>

中核開発

- オープンイノベーションラボ<新設>

企業集積

- 「食」の最先端研究と関連製造企業の集積拠点

Robot-hill

- ・人材育成: Scramble
- ・研究拠点: ATR
- ・開発実証拠点: ロボット技術センター
- ・実装ゾーン: 精華大通り
- ・企業集積ゾーン: けいはんなプラザ KICK、D-egg、造成地

賢人会議
建設計画見直し
景観計画見直し検討etc

まちの
環境改善

まちの
魅力向上

学研都市第5次プラン策定

「グレーターけいはんな」等
まちづくりの視点